

# 中郷区地域協議会だより

第66号(令和6年度第2号)

地域協議会の活動は上越市ホームページで閲覧できます。



発行日:令和7年1月25日  
発行:中郷区地域協議会  
編集:地域協議会だより  
編集委員会  
(中郷区総合事務所)  
TEL:0255-74-2411

## 自主的審議事項の経過① 子どものい〜場所開設事業

地域協議会に寄せられた、子どもが減ったことによる将来のコミュニケーション能力が心配という保護者の声から、「子どもが集まれる場所」を模索しています。それが「子どものい〜場所開設事業」です。大人が活動メニューを提供するのではなく、自主的な活動を見守ることで、子どもたちの自主性を尊重しています。



これまでに、片貝地域生涯学習センター、中郷総合体育館、中郷コミュニティプラザで計5回開設し、各回13人から20人の小学生が参加しました。開設場所によっては活動内容が制限されますが、子どもたちは、その場所に合わせた遊びをしています。時には、見守っている大人にも、遊びへの参加を求められる場面もありました。遊んでいる途中に「お腹が空いた」と言う子どもがいれば、終了時間になっても「帰りたくない」と言う子もいて、周囲とコミュニケーションを取りながら自由に活動する姿を見ることができました。



今後アンケートを取り、より良い居場所のあり方を探っていきたいと思います。(委員 陸川)



中郷区の子どもの居場所づくりに関する課題解決のヒントを得るため、12月2日⑩に長野県千曲市で活動している一般社団法人オレンジファムに視察研修に行きました。オレンジファムでは、子どもたちが自分の「好き」を追求できる場を提供し、町全体で子どもを見守る環境を整えています。また、不登校など困難な状況にある子どもたちが自分の道を歩む力を育むことを目指しています。

研修では、中島代表から、困った子どもたちを笑顔にするため日々奮闘しているとのお話を伺い、その苦勞にもかかわらず、子どもたちとの活動を楽しく語る姿に深く感銘を受けました。こども食堂の運営、ボランティアの集め方、取り組みの周知、運営資金の確保、さらには課題や今後目指す取り組みについて、具体的な話を伺い、子どもたちを支える活動の重要性を改めて感じました。



土地柄の違いはありますが、今回の学びを活かし、中郷区の子どもの笑顔が増える居場所づくりとまちづくりを協議していきたいと考えます。

(委員 村越)

## 自主的審議事項の経過② 「(仮称) さとまるバス」の運行による検証事業

令和4年度に実施した全世帯アンケートの結果、買い物や通院などにおける交通手段に対し不安を感じている意見が多くあげられました。地域協議会では、地域住民の助け合いによる新たな移動支援サービスを具体化するため、令和6年度地域独自の予算事業に「(仮称) さとまるバス」の運行による検証事業」を提案し、実際に移動手段が必要な人の実態調査を行い、協議を重ねてきました。私たちの協議を基にした「地域住民の助け合いによる運行」が新たに4月からスタートします。運行は、中郷区まちづくり振興会が行うこととなります。新たな取り組みのため、上手くいかないことが多く、改善が必要なこともあると思いますが、助け合いの心から発足したこの運行が、地域に合うベストな移動手段となるよう、みんなの力で創り上げていきましょう。移動手段を必要としている方、運転免許証をお持ちでない方、返納を検討されている方、ぜひご活用ください。



(委員 桐山)

## レゴブロックを使った未来づくり 11月22日(金) 中郷中学校



地域の子どもが中心となり、将来の地域の姿を表現するため、レゴブロックを使ったワークショップが中郷中学校2年生を対象に行われました。地域協議会が以前行った全世帯アンケートの結果を基に「駅」「学ぶ」「産業」「克雪」をテーマに掲げ、子ども達が住みたい理想の中郷区をレゴブロックで制作しました。子ども達が望む地域の姿を真剣に考え、創り上げる姿に感銘を受け、我々大人世代の機運も高まったと感じます。一人一人の個性を大切に、自己有用感を感じながら行ったこのワークショップは、子ども達の心に残ると共に、その創り上げた未来をいつしか具現化できるようなエネルギーを感じることができました。

(会長 竹内)

## 編集後記

新年を迎え、今年の抱負を立てた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。抱負とは、心の中に持っている決意や計画を指す言葉で、「〇〇になりたい、したい」という願望や希望を達成するための具体的な計画やプロセスが含まれています。

昨年春に委員となり、事業に携わったり研修に参加したりと、たくさんの方にお会いすることができました。そこから見えた光景、聴こえてきた話は、学ぶことも多くありました。

「子どもの い～場所開設事業」やレゴブロックワークショップでの子どもたちの笑顔、4区合同研修会で清里区の地域協議会委員からかけてもらった中郷区へのお褒めの言葉。どちらも自然と笑顔になり、私が抱負とした「見る・聴く・知る」は笑顔になるためのプロセスだったのだと気づきました。

「ずっと大好き中郷！未来へのバトン」を基に、これからもたくさんの笑顔のために尽力してまいります。

(委員 尾崎)

地域協議会をぜひ傍聴してください。開催日時や場所など詳細は、中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ 地域振興班(☎74-2411)までお問い合わせください。